



食す

# 江戸動物誌

—生活のなかの動物たち—

2021. 10/25 月

11/19 金

装う



愛でる



開館時間=午前9時30分~午後4時30分

休館日=土曜日、日曜日、祝日

観覧料=無料

会場=ギャラリー1

企画=阿部 常樹

(城西大学経営学部非常勤講師)

主催=城西大学水田美術館

協力=江東区、新宿区、墨田区、文京区、  
東京大学埋蔵文化財調査室

Open:9:30 ~ 16:30

Closed: Saturdays and Sundays  
and Holidays

Admission fee: free

Place: Gallery 1

上: 剥き身の痕跡のみられる貝殻(ヤマトシジミ)、東京大学埋蔵文化財調査室提供

右: 楊洲周延《時代かすみ 元禄之頃 耳の垢取りの古図》部分、大判錦絵、明治30年(1897)、当館蔵

左: 楊洲周延《時代かすみ 寛永之頃 洗湯がへり》部分、大判錦絵、明治29年(1896)、当館蔵



城西大学水田美術館  
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI UNIVERSITY



# 江戸動物誌



1.



2.



3.

人間は長い歴史の中で動物たちとさまざまな形で関わってきました。その関係は、癒しの対象であったり、仕事のパートナーであったり、さらには、食材や道具の材料として利用したりとさまざまです。そしてそのありかたは時代によって変化し、それと共に姿や大きさが変化する動物もいました。さて、城西大学水田美術館には浮世絵をはじめとする多くの江戸時代に関する絵画を所蔵しております。そのなかには、その時代の人と動物との関係性や動物の姿が生き活きと描かれています。また、遺跡からはその動物たちそのものが出土しており、当時の彼らの姿や人々による利用方法を直接知ることのできる貴重な資料となっています。本展示では、江戸時代における動物と人間との関係性や当時の動物たちの姿を絵画と考古資料から見ていきます。それらの資料をもとに、考古学・歴史学の研究成果から江戸時代の人々が生活のなかで動物とどのように関わってきたか(利用してきたか)解説していきます。今回の展示では、その関わり合いのなかから、特に「食」「道具の材料」「愛玩」に焦点を当てた展示となっています。

江戸時代の動物たちの生活ぶりもさることながら、人々はどうのように動物たちと関わってきたのか、現在と共通する点と異なる点を探しながら展示を楽しんでみてください。

阿部 常樹(城西大学経営学部非常勤講師)

## 関連企画

### 11月11日(木) 午後1時30分~午後2時50分

演題:「近世考古学と江戸の風景」  
 講師: 谷川 章雄 (早稲田大学人間科学学術院教授)  
 会場: 城西大学水田三喜男記念館 講堂 (定員 40名)  
 参加形態: 会場参加とオンライン参加 (Zoom)

#### 会場参加の場合の申込

\*参加人数は1組3名様までとなります。  
 \*参加希望の方は、参加者氏名/参加人数/連絡先(複数の場合は代表者様の連絡先)/参加者の住所(市区町村まで)を、下記いずれかの方法により、事前にお申し込みください。

- ①メール=museum@josai.ac.jp ②電話=049-271-7327  
 ③FAX=049-271-7342 ④予約フォームからのお申し込み ▶申込フォーム QRコード

\*講演会会場と展示会場は建物が異なりますため、当日展示もご覧になる方は、下記時間帯より来館のご予約時間も併せてお知らせ下さい。  
 来館時間=9:30~/10:30~/11:30~/12:30~/15:30~

#### オンライン参加 (Zoom) の申込

\*申込期限: 11/9 (火) 午後5時まで。

\*下記申込フォームにて申込期限までにお申し込みください。前日までに参加のための Zoom ミーティング URL、ID、パスコードを美術館メール(museum@josai.ac.jp)よりお知らせいたします。

▶申込フォーム QRコード

\*Zoom 操作に関する問い合わせには対応いたしかねます。予めご了承ください。

### 10月28日(木) 午後1時30分~午後2時30分

講師: 阿部 常樹 (城西大学経営学部非常勤講師)  
 会場: 当館1階多目的スペース、2階ギャラリー1  
 定員: 12名 (申込先着順)  
 申込: 事前申込

\*1階で講義をした後、展示室にて展示解説を行います。  
 \*参加希望の方は、参加者氏名/参加人数/連絡先(複数の場合は代表者様の連絡先)/参加者の住所(市区町村まで)を、下記いずれかの方法により事前にお申し込みください。  
 ①メール=museum@josai.ac.jp ②電話=049-271-7327 ③FAX=049-271-7342

\*スライドトーク、講演会は録画をし、後日当館 Youtube チャンネルにて配信いたします。  
 \*配信のお知らせは当館ホームページ、Twitterでお知らせいたします。



4.



5.



6.



7.

1. 剥き身の痕跡のみられる貝殻(ヤマトシジミ)、東京大学理蔵文化財調査室提供/  
 2. 歌川国貞(『汐干狩り』)大判錦絵三枚続、弘化4年~嘉永5年(1847~52)頃、当館蔵/  
 3. 切通堀のみられるサバの骨骨、東京大学理蔵文化財調査室提供/  
 4. 鹿材となったウマの脚の骨、東京大学理蔵文化財調査室提供/  
 5. 二代歌川広重、二代歌川国貞《観音霊驗記 秩父順礼 十五番 母娘山蔵福寺 湯尾峠の奇談》大判錦絵、安政6年(1859)、当館蔵/  
 6. “偽龍甲”を作った際のウシの角、文京区提供/  
 7. 手厚く葬られたイヌ、墨田区提供

同時開催  
 城西大学水田記念図書館所蔵 漢方古書資料紹介展  
**むかしむかしの水産図鑑**  
 —《魚貝能毒品物図考》《水産図解》—  
 本学図書館所蔵の《魚貝能毒品物図考》(嘉永2年(1849))と《水産図解》(明治22年(1889))を实物資料とパネルでご紹介します。江戸と明治の水産図鑑をお楽しみ頂きます。



《魚貝能毒品物図考》より

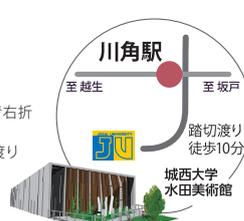
\*今後の状況によっては、開催内容の変更、延期または中止となる場合があります。詳細は当館ホームページ、Twitterでお知らせいたします。  
 \*当館へのご来館は事前予約制となります。詳しくはHPをご覧ください。お電話にてお問合せください。(049-271-7327)  
 \*ご来館前日の午後3時までにご予約ください。QRコードからの予約が便利です▶

#### 交通のご案内



【電車の場合】  
 東武東上線坂戸駅乗り換えで東武越生線川角駅下車、踏切を渡り徒歩10分

【お車の場合】  
 1. 関越自動車道「鶴ヶ島 I.C.」を出て、鶴ヶ島方面に進み国道407号線を直進  
 2. 「脚折町四丁目」交差点で右折し、右に「狩野動物病院」の看板がある交差点で右折  
 3. 「一本松」交差点を毛呂山方面に直進  
 4. 「万年橋」を渡り、「明海大学病院」の看板がある交差点を左折し直進、踏切を渡り登り坂を進むと突き当りに城西大学正門入口  
 ※鶴ヶ島 I.C. より約 20 分



By train: From Sakado station of the Tōbu-Tojō Line, take the Tōbu-Ogose Line and get off at Kawakado station. It is a ten minute walk to the university.

